



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 武蔵精密工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7220 URL http://www.musashi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 浩史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 高橋 森一 TEL 0532-25-8111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	142,740	△21.5	2,308	△64.5	2,469	△62.8	2,544	△41.6
2020年3月期第3四半期	181,870	△5.7	6,502	△43.1	6,631	△44.2	4,353	△45.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,850百万円 (453.7%) 2020年3月期第3四半期 1,056百万円 (△66.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	39.02	—
2020年3月期第3四半期	66.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	210,870	87,301	36.2	1,170.54
2020年3月期	207,333	82,511	34.5	1,096.20

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 76,367百万円 2020年3月期 71,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	21.00	—	10.50	31.50
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	20.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△15.4	5,000	△31.4	5,100	△28.3	4,200	—	64.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	65,258,601株	2020年3月期	65,184,001株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	17,558株	2020年3月期	17,470株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	65,208,835株	2020年3月期3Q	65,144,977株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日~12月31日)における世界の自動車市場は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて地域ごとに大きく変動いたしました。昨年4月以降いち早く回復した中国におきましては好調が続いておりますが、欧米においては第一四半期は大きく落ちこみ、逆に第二四半期以降は急激に回復に転じました。一方で、東南アジアではその影響が長引いており、前年に対してマイナスしている状況です。また足元でも、感染症の再拡大や世界的な半導体不足により、先行きはまだ不透明な状況が続いております。その中で、当社では2020年11月1日を持ちまして連結子会社であるJMエナジー株式会社の商号を「武蔵エナジーソリューションズ株式会社」に変更し、さらに強靱な企業体質の構築を進め、持続可能な社会を実現するエネルギーソリューション事業の展開を加速させております。また、海外のスタートアップとの連携を深め、新規事業の創出に向けた取り組みにも一層注力しております。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、142,740百万円(前年同期比21.5%減)と減収となりました。

利益面では、連結営業利益は、2,308百万円(同64.5%減)となりました。連結経常利益は、2,469百万円(同62.8%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,544百万円(同41.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(日本)

売上高は22,327百万円(前年同期比16.3%減)、セグメント損失は493百万円(前年同期は2,025百万円の利益)となりました。

(米州)

売上高は32,953百万円(前年同期比21.8%減)、セグメント利益は967百万円(同15.8%減)となりました。

(アジア)

売上高は28,693百万円(同38.6%減)、セグメント利益は49百万円(同98.7%減)となりました。

(中国)

売上高は23,130百万円(同19.6%増)、セグメント利益は3,616百万円(同64.3%増)となりました。

(欧州)

売上高は35,634百万円(同24.2%減)、セグメント損失は2,065百万円(前年同期は2,880百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前期末に比べて3,537百万円増加し、210,870百万円となりました。

流動資産は、前期末に比べて3,104百万円増加し、92,179百万円となりました。主な要因は、売掛債権の増加によるものであります。

固定資産は、前期末に比べて432百万円増加し、118,691百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

負債は、前期末に比べて1,252百万円減少し、123,569百万円となりました。主な要因は、借入金の返済によるものであります。

非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べて4,790百万円増加し、87,301百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年11月4日に公表した2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	187,000	1,500	1,300	1,500	23.00
今回発表予想 (B)	200,000	5,000	5,100	4,200	64.41
増減額 (B-A)	13,000	3,500	3,800	2,700	41.41
増減率 (%)	7.0	233.3	292.3	180.0	180.0
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	236,355	7,285	7,113	△6,902	△105.95

(修正の理由)

当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上記の通り修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,665	22,909
受取手形及び売掛金	25,370	29,175
商品及び製品	7,817	7,400
仕掛品	7,054	7,242
原材料及び貯蔵品	18,843	20,044
その他	9,401	5,499
貸倒引当金	△78	△93
流動資産合計	89,075	92,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,233	45,636
減価償却累計額	△21,758	△23,187
減損損失累計額	△308	△296
建物及び構築物 (純額)	22,167	22,152
機械装置及び運搬具	204,621	212,430
減価償却累計額	△151,437	△161,059
減損損失累計額	△524	△509
機械装置及び運搬具 (純額)	52,659	50,861
工具、器具及び備品	12,183	12,616
減価償却累計額	△8,217	△8,961
減損損失累計額	△16	△15
工具、器具及び備品 (純額)	3,949	3,638
土地	6,994	7,325
建設仮勘定	12,449	13,104
有形固定資産合計	98,219	97,082
無形固定資産		
のれん	972	764
顧客関連資産	2,948	2,842
ソフトウェア	1,560	1,345
ソフトウェア仮勘定	33	36
その他	1,908	1,648
無形固定資産合計	7,423	6,637
投資その他の資産		
投資有価証券	6,203	8,867
出資金	667	691
長期貸付金	993	407
繰延税金資産	2,189	2,455
その他	2,604	2,592
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	12,614	14,970
固定資産合計	118,258	118,691
資産合計	207,333	210,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,189	15,099
短期借入金	31,803	34,181
1年内返済予定の長期借入金	19,345	13,081
未払金	3,002	3,375
未払費用	8,424	6,826
未払法人税等	1,247	1,892
賞与引当金	2,230	1,353
役員賞与引当金	42	14
製品補償引当金	1,144	897
その他	5,369	5,805
流動負債合計	87,800	82,527
固定負債		
長期借入金	27,958	28,405
繰延税金負債	2,285	3,095
退職給付に係る負債	5,169	6,020
その他	1,607	3,519
固定負債合計	37,021	41,041
負債合計	124,821	123,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,361	5,394
資本剰余金	4,340	4,373
利益剰余金	79,624	81,158
自己株式	△8	△8
株主資本合計	89,317	90,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,437	2,274
為替換算調整勘定	△19,314	△16,715
退職給付に係る調整累計額	△6	△108
その他の包括利益累計額合計	△17,882	△14,550
非支配株主持分	11,076	10,934
純資産合計	82,511	87,301
負債純資産合計	207,333	210,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	181,870	142,740
売上原価	156,983	124,652
売上総利益	24,887	18,088
販売費及び一般管理費	18,385	15,779
営業利益	6,502	2,308
営業外収益		
受取利息	499	242
受取配当金	384	109
助成金収入	—	458
その他	417	216
営業外収益合計	1,301	1,026
営業外費用		
支払利息	563	490
為替差損	320	176
その他	287	198
営業外費用合計	1,171	865
経常利益	6,631	2,469
特別利益		
固定資産売却益	51	17
負ののれん発生益	—	877
債務取崩益	—	551
特別利益合計	51	1,445
特別損失		
固定資産売却損	15	2
固定資産除却損	49	35
減損損失	31	—
災害による損失	—	83
特別損失合計	96	121
税金等調整前四半期純利益	6,585	3,793
法人税等	2,169	1,754
四半期純利益	4,416	2,039
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	62	△504
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,353	2,544

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	4,416	2,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107	836
為替換算調整勘定	△2,672	3,111
退職給付に係る調整額	△794	△136
その他の包括利益合計	△3,359	3,811
四半期包括利益	1,056	5,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,440	5,876
非支配株主に係る四半期包括利益	△383	△25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用について、当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積もりについて)

新型コロナウイルス感染症の世界的な広がり、当社グループの事業活動に影響を及ぼしており、依然として不透明な状況にあります。

当社グループは新型コロナウイルス感染症の影響に関して、今後の拡大や収束時期等の予測が困難であることから外部の情報源を踏まえ、当連結会計年度の一定期間にわたり当感染症の影響が継続するという仮定に基づいて、固定資産に関する減損損失の認識要否の判断等の会計上の見積もりを実施しており、当第3四半期連結累計期間に変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
売上高								
外部顧客への売上高	26,667	42,135	46,724	19,339	47,002	181,870	—	181,870
セグメント間の内部売 上高又は振替高	21,061	100	1,346	1,920	941	25,370	△25,370	—
計	47,728	42,236	48,071	21,260	47,944	207,240	△25,370	181,870
セグメント利益又は損 失(△)	2,025	1,148	3,680	2,201	△2,880	6,175	326	6,502

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額326百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
売上高								
外部顧客への売上高	22,327	32,953	28,693	23,130	35,634	142,740	—	142,740
セグメント間の内部売 上高又は振替高	15,023	105	1,161	2,338	1,100	19,728	△19,728	—
計	37,350	33,059	29,854	25,469	36,735	162,468	△19,728	142,740
セグメント利益又は損 失(△)	△493	967	49	3,616	△2,065	2,074	233	2,308

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額233百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、JMエナジー株式会社(現 武蔵エナジーソリューションズ株式会社)の発行済株式の80%を取得し、同社を連結子会社としました。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては877百万円であります。なお、負ののれんの金額は第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。なお、負ののれん発生益の金額に修正は生じておりません。